

環境調査結果のお知らせ

平成29年12月20日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温16~17℃、塩分34~35、溶存酸素量7~9mg/lでした。
透明度は4~11mで、有毒種のアレキサンドリウム属が確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温15.5~17.0℃、塩分34.3~34.8でした。前回調査時(H29.11.29)と比較して、水温は全層で3.3~3.4℃下降しました。塩分は全層で0.4上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量6.9~9.0mg/lでした。
前回調査時と比較して、溶存酸素量は全層で1.1~1.6mg/l増加しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は4.0~11.0mでした。
検鏡の結果、貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最高で4cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

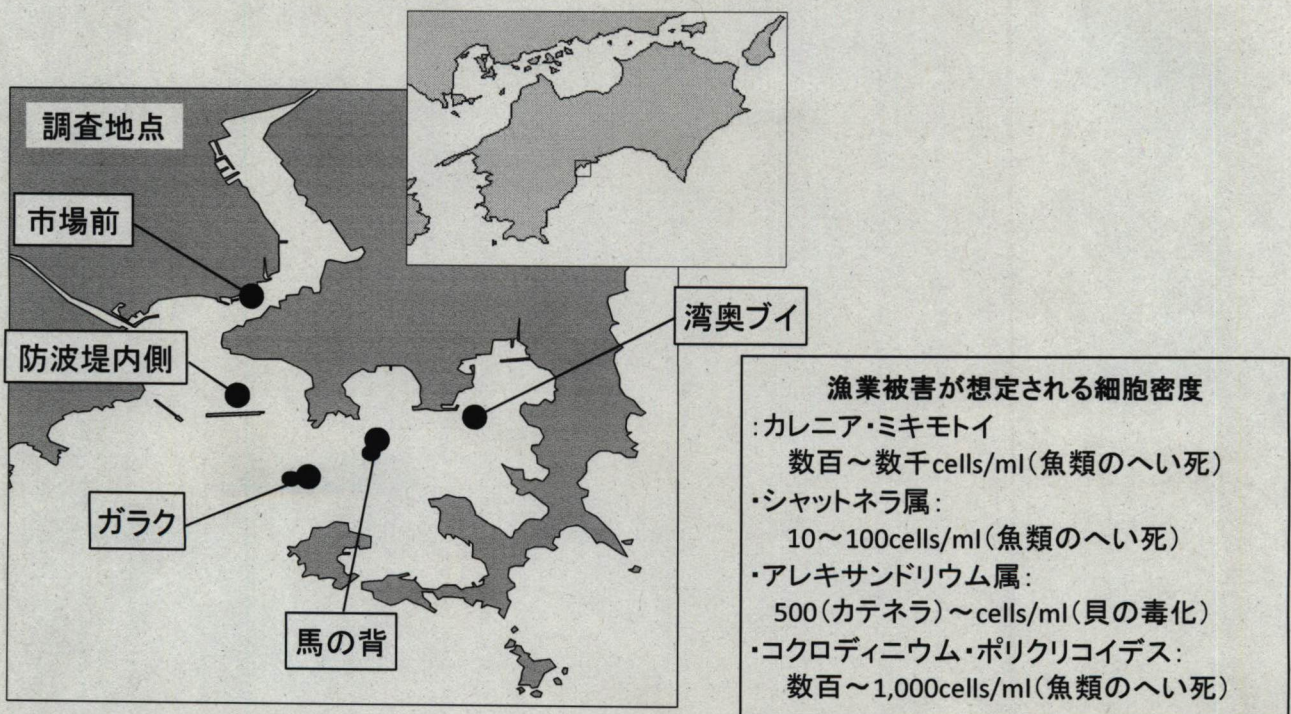


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H29.11.29)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	16.3	16.7	17.0	15.6	16.6	20.0	▲ 3.4	15.6
2m	16.3	16.7	17.0	15.6	16.6	20.0	▲ 3.4	15.6
5m	16.3	16.7	17.0	15.5	16.6	20.0	▲ 3.4	15.5
10m	16.2	16.6	17.0	15.6	16.6	19.9	▲ 3.3	16.3
B-1m	16.1	16.3	16.9	15.6	16.4	19.8	▲ 3.4	16.3

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H29.11.29)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	34.8	34.8	34.8	34.3	34.8	34.4	0.4	34.1
2m	34.8	34.8	34.8	34.4	34.8	34.4	0.4	34.2
5m	34.8	34.8	34.8	34.4	34.8	34.4	0.4	34.2
10m	34.8	34.8	34.8	34.4	34.8	34.4	0.4	34.7
B-1m	34.8	34.8	34.8	34.4	34.8	34.4	0.4	34.7

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H29.11.29)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	7.9	8.1	7.9	9.0	8.0	6.4	1.6	8.6
2m	7.7	7.7	7.3	8.8	7.6	6.3	1.3	8.2
5m	7.6	7.2	7.1	8.4	7.3	6.2	1.1	8.0
10m	7.5	7.1	6.9	8.2	7.2	6.1	1.1	7.7
B-1m	7.5	7.1	6.9	7.9	7.2	6.1	1.1	7.6

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	市場前
水深	17.2	24.0	15.5	16.2	11.6
透明度	7.0	9.0	11.0	6.0	4.0
前回(11/29)	6.5	6.0	8.0	4.5	3.0

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ属	アレキサンド リウム属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	3	0	0
	2m	0	0	0	0	20
	5m	0	0	2	0	40
馬の背	0m	0	0	2	0	20
	2m	0	0	1	0	10
	5m	0	0	0	0	10
ガラク	0m	0	0	0	0	15
	2m	0	0	0	0	10
	5m	0	0	0	0	30
津波防波堤 内側	0m	0	0	4	0	20
	2m	0	0	0	0	20
	5m	0	0	0	0	30
市場前	0m	0	0	0	0	50
	2m	0	0	0	0	60
	5m	0	0	0	0	100